

【PRESS RELEASE】

なんと「マヌルネコのうた」のMVを作ってしまった

4月1日、エイプリルフールに公式Twitter、王国YouTubeチャンネル等で「マヌルネコの歌を作ります」宣言の予告動画を配信しました。予想以上の反響をいただき公式Twitterでは64,000以上の再生を記録しております。この度、「マヌルネコのうた」本当に作りました！ご期待下さい！

那須どうぶつ王国では現在アジアの森に2頭のマヌルネコ(♂ボル・♀ポリー)が展示されています。2019年にはボルとポリーの間に2頭の赤ちゃんが生まれたのは記憶に新しいかと思えます。

マヌルとはモンゴル語で「小さなヤマネコ」という意味で、ネコ科の動物では最も古い種です。その個性的な風貌や動きから現在、人気沸騰の野生のネコです。またワシントン条約附属書Ⅱに記載される将来絶滅の危険性が高い野生希少動物です。

マヌルネコは野生では雑菌が少ない高地に生息しているため、感染症に弱く飼育下での繁殖はとても難しいと言われております。

この魅力的なマヌルネコのことを動物好きの方々だけではなく、さらに多くの皆様に知っていただき、その生息環境や野生の姿を想像いただけるきっかけを創出したいと考えました。さらに当園が取り組む野生動物や環境の保護・保全・啓発活動に興味を持って頂けると嬉しいです。

そのために国内外の広告賞、数多くの話題作を手掛け、2020年には世界最大級の映像コンテストで日本一にもなったクリエイティブ・ディレクター※富永 省吾氏を起用して動物の生き生きとした躍動感、距離感の近さ等、那須どうぶつ王国でしか撮れない映像素材を使ったデジタルコンテンツ「マヌルネコのうた」(*Twitter 最長尺の2分20秒)を制作し発表します。

「マヌルネコのうた」は当園でしか撮れない映像素材を使ったプロモーションビデオ。希少動物の保全も歌詞に織り込みながらマヌルネコの持つ個性を引き出した新しい映像です。富永氏は大のネコ好きでマヌルネコファンでもあり本人からの熱烈なプレゼンもあり実現しました。菊池成孔氏とのユニット「FINAL SPANK HAPPY」のボーカルとしても知られる小田朋美氏が作曲/歌唱、歌詞は富永氏自ら書き下ろしており、とてもクセになるシュールな仕上がりになっています。

発表は4月15日(木) 21時~ 動画 URL はコチラ→ <https://youtu.be/5YLSP6b6yHg>

*4月23日※「国際マヌルネコの日」に先行して発表します。



公式 Twitter <https://twitter.com/nakprstaff>

YouTube チャンネル <https://www.youtube.com/channel/UCp6QcfkxVaT77OVMXKKTJoQ> など SNS 上で発表します。

*マヌルネコの撮影には照明は一切使用していません。

またマヌルネコにストレスをかけない様に距離を保ち静かに撮影を行いました。

マヌルネコ个体情報

① オス(名前ボル)*手前
生年月日 2014年4月18日
体長 約50センチ
体重 約4.3キロ

② メス(名前ポリー)*奥
生年月日 2015年5月15日
体長 約50センチ
体重 約4.4キロ



【マヌルネコについて】

その特徴はイエネコを含め小型のネコとは違いがあります。目の位置が高く耳は極端に頭の横に離れて付いています。さらにおでこは平で耳のラインは水平でつながって見えます。まるでお坊さんの様な風貌です。

これは乾燥した樹木の無い高地の岩場や平坦で乾燥した草原に生息するため隠れる場所が少なく目だけを出して獲物に気づかれない工夫です。

狩りの仕方は忍び寄り型、独特のカクカクした動きや尻尾を振り獲物を射止めるなどユニークな技に釘付けになります。厳しい環境で生き抜くために、まるでせんべいの様に地面に平らに腹ばいになって天敵のワシやオオカミから身を隠します。

そんな個性的な魅力を持つマヌルネコですが、近年は地球温暖化等人間の経済活動による生息環境の悪化によりワシントン条約付属書Ⅱに記載される将来絶滅の危険性が高い野生動物です。

またマヌルネコは他のネコ科の動物とは異なり、瞳孔が明るいところでも縦長にならず丸のまま収縮します。その生息環境は夏は40℃近くあがり、冬には氷点下50℃にも達する想像を絶する過酷な世界です。その生き抜く力には驚嘆に値します。



分類:食肉目 ネコ科

学名:Otocolobus manual 英名:Pallas' s Cat

体長:50~65cm

食性:主にげっ歯目などの小動物

分布:シベリア南部から中央アジアの砂漠地帯・樹木のない高地の岩石地 保全:

IUCN(国際自然保護連合)レッドリスト LC(軽度懸念) ※2021年4月現在

:CITES(ワシントン条約)付属書Ⅱ

※国際マヌルネコの日(International Pallas' s cat day)

2019年にPICA(Pallas' s cat international conservation alliance)「国際マヌルネコ保全協会」が制定。日本では那須どうぶつ王国、埼玉県こども動物公園がサポーターとして登録されている。マヌルネコを知る日、生息環境や生態等日本のマヌルネコを展示する動物園7園でもオンラインイベントを開催、普及啓発活動を行っている。

※富永省吾 <https://shogotominaga.com/>
クリエイティブ・ディレクター/映像作家

1991年生まれ。2013年、クリエイティブディレクターとして日本最年少で CANNES LIONS Health 銅賞受賞。その後、TOKYO MIDTOWN AWARDをはじめ国内外の広告賞、数多くの話題作を手掛ける。ブランディング/プロモーション/コンテンツを総合的な視点で捉えた「チャンネルのデザイン」を得意とする。ブレーン「いま一緒に仕事をしたいU35クリエイター」選出。フランス・カンヌで主催される世界最大のクリエイティブコンテスト、ヤングライオンズコンペティション(通称ヤングカンヌ)の映像部門で日本一となり、2021年の世界大会に向けて日本代表に内定している。

※デジタルコンテンツ「マヌルネコのうた」は観光庁による「誘客多角化等のための魅力的な滞在コンテンツ造成」実証事業により制作しております。

那須どうぶつ王国 広報担当
電話 0287-77-1110

宮地 さくら 携帯 090-8870-3508 miyachi@nasu-oukoku.com
鈴木 和也 携帯 090-4757-1625 suzuki@nasu-oukoku.co